

第30回 中国高等学校弓道新人大会 要項

主催 中国高等学校体育連盟・中国地域弓道連合会
共催 広島県弓道連盟
後援 (公財)全日本弓道連盟・広島県教育委員会・広島県高等学校体育連盟・中国新聞社
主管 広島県高等学校体育連盟弓道専門部

1、期 日

(1) 大会受付	令和4年11月18日(金)	8:30
(2) 公式練習	令和4年11月18日(金)	9:00~15:05
(3) 開会式	令和4年11月18日(金)	中止
(4) 競 技	令和4年11月19日(土)~20日(日)	
(5) 閉会式	令和4年11月20日(日)	13:30~
(6) 諸会議	専門委員長会議 令和4年11月18日(金)	13:10~
	監督会議 令和4年11月18日(金)	15:30~

2、会 場

広島県立総合体育館 〒730-0011 広島市中区基町4-1 082-228-1111

(1) 開 会 式	中止
(2) 開始式・競技・閉会式	広島県立総合体育館 弓道場
(3) 専門委員長会議	広島県立総合体育館 武道場 委員長控え室
(4) 監 督 会 議	広島市青少年センター第3集会室【別紙交通案内図参照】

3、日 程

11月18日(金)	<u>9:00</u>	公式練習
	13:10	専門委員長会議
	15:30	監督会議
		開会式・矢渡し 中止
11月19日(土)	9:00	開始式(優勝杯・優勝盾返還・選手宣誓)
	<u>9:30</u>	個人競技 予選1回戦[女子・男子]
	10:25	個人競技 予選2回戦[女子・男子]
	11:20	個人競技 決 勝 [女子・男子]
	11:50	個人競技 表 彰 式
	<u>12:40</u>	団体競技 予選1回戦[女子・男子]
	14:10	団体競技 予選2回戦[女子] (予選同中競射) 決勝トーナメント抽選会(女子)【選手控室】 団体競技 予選2回戦[男子] (予選同中競射) 決勝トーナメント抽選会(男子)【弓道場】
11月20日(日)	<u>9:30</u>	団体競技 決勝トーナメント 1回戦[女子・男子]
	11:20	団体競技 決勝トーナメント 準々決勝[女子・男子] (団体競技 5位~8位決定競射[女子・男子])
	12:30	団体競技 決勝トーナメント 準決勝[女子・男子]
	12:55	団体競技 3位・4位決定戦[女子・男子]
	13:10	団体競技 決勝トーナメント 決 勝 [女子・男子]
	13:30	閉 会 式

※上記は予定時刻です。前後することもありますので、ご注意ください。
ただし、下線部の時刻が早まることはありません。

4、競技種目

個人競技 女子の部・男子の部
団体競技 女子の部・男子の部(1校…選手3名・補員1名以内)

5、競技方法

- (1) 36cm 霰的、距離28m、的中制。射手間隔は160cmとする。
- (2) 行射は、個人競技並びに団体競技予選は立射、団体競技決勝は坐射とする。
- (3) 個人競技（3人立4射場）

四ツ矢2立（計8射）とし、的中数上位より8位まで決定する。同中の場合、優勝決定は射詰法、他は遠近法により決定する。ただし、射詰において5射目からは24cm 星的を使用する。

優勝決定以外の順位決定は、複数の射場で同時に行う場合もある。
- (4) 団体競技（予選…3人立4射場、決勝…3人立2射場）
 - ① 予選は四ツ矢2立（各自8射・計24射）とする。
 - ② 予選的中数上位16チームを予選通過とする。同中により16位が複数の場合は各自1射・計3射の競射を行い、予選通過チームを決定する。
 - ③ 決勝は、トーナメント方式により行う。
 - ④ 決勝トーナメントでの対戦は四ツ矢1立（各自4射・計12射）とする。ただし、3位・4位決定戦は各自2射・計6射とする。同中の場合は各自1射・計3射の競射を行い、勝敗を決定する。（同中競射1本目は替矢を使用する）

5位から8位の順位は準々決勝的中数により決定する。同中の場合は各自1射・計3射の競射を行い、順位を決定する。
 - ⑤ 決勝トーナメントの組み合わせ抽選方法は次の通りとする。

ア) 予選的中4位以内のチームは、立順1番・8番・9番・16番のいずれかに、抽選によってシードする。ただし、同中により4位が複数の場合には、予備抽選を行って4チームを決定し、その後シード抽選を行う。予備抽選ではずれたチームは、他の予選通過チームとともに、シード後の抽選に加わる。なお、抽選順番は予選中の順とし、同中の場合は予選立順の順番とする。

イ) ア) 以外の協議を要するケースが生じた場合は、各県専門委員長が協議し決定する。
- (5) 競技の制限時間
 - ① 競技時間は、本座における進行係の合図によって始まり、最後の射手の離れで終わる。
 - ② 1団体12射の行射制限時間を、予選は5分30秒以内とし、決勝は6分30秒以内とする。

制限時間30秒前に予鈴、制限時間に本鈴を鳴らして合図する。
 - ③ 弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④ 個人競技および1本ずつの競射については、進行係または審判の指示に従うものとする。
- (6) 選手の交代
 - ① 申込書に記載した立順および補員の変更は認めない。
 - ② 団体競技において、選手の交代は予選1回戦前に1回、その後2回の計3回まで認める。監督は所定の用紙に記入し、第3控に入るまでに届け出ること。
- (7) 監督の変更
監督の変更は、所定の用紙に記入し、監督会議時まで届け出ること。
- (8) 審判その他は、(公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則および本大会要項による。

6、参加資格

- (1) 出場選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により参加資格を得た者に限る。
- (3) 年齢は平成16年（2004年）4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制および定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後6か月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住などの理由でやむを得ない場合は、所属高体連会長の認可があればこの限りでない。
- (6) 出場選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例による学校の参加については、中国大会開催基準要項の通りとする。

7、出場数

- (1) 個人競技は、男女とも各県12名以内とする。
- (2) 団体競技は、男女とも各県6校以内とし、1校1チームとする。ただし、開催県は男女とも7校出場できる。
- (3) 前年度団体優勝校は、上記(2)以外として出場することができる。

8、監督・引率責任者

- (1) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各県に規定があり、この基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された部活動指導員(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、部活動指導員に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。

9、表彰

- (1) 団体競技、個人競技ともに8位まで表彰する。
- (2) 団体優勝校には優勝杯(持ち回り)、個人優勝者には優勝盾(持ち回り)を授与する。

10、参加申込

各県専門委員長は(1)・(2)をとりまとめ、令和4年11月7日(月)必着で申込・送金すること。
申込先・送金先は、各県委員長に別途連絡する。

- (1) 参加申込書
- (2) 参加負担金 団体競技1チーム 13,000円、個人競技1名 1,500円

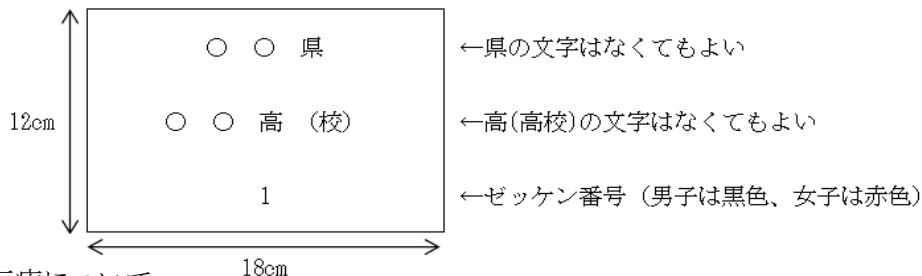
11、宿泊・弁当申込

宿泊料1人1泊2食8,600円～10,500円(税込)、昼食弁当代700円(お茶付)
※宿泊・弁当要項に従い、(株)東武トップツアーズ広島支店 担当【山脇・植松・宮本】宛
11月1日(火)までにメールまたはFAXで申し込むこと。

12、連絡事項

- (1) 競技上の留意事項
 - ① 競技は無観客とする。弓道場の立ち入りは監督・引率・選手・補員のみとし、他は認めない。
 - ② 矢張り籐に意図的な目印と判断されるようなものがある場合、矢張り籐が破損している場合は、テープを巻いて使用を許可することもあるので、あらかじめ注意すること。なお、弓具・服装点検は、予選1回戦の前に行う。
 - ③ 射場内で発声してはならない。また、射場外での応援は拍手にとどめ、発声や射術上の指示をしてはならない。競技にさしつかえると審判が判断した場合は注意を与えることがある。
 - ④ 矢番え完了後に筈こぼれた矢は無効とする。
 - ⑤ 出場者は、四ツ矢の他に替矢を2本持参すること。1本は筈割れ、他の1本は競射に使用する。
 - ⑥ 取り矢を行うこと。
 - ⑦ 第2控から第1控へ移動するまでに集合しない場合、その立に限り、その選手は失権とする。
- (2) 競技の服装について
 - ① 弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一すること。
 - ② 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは、不可とする。
 - ③ 鉢巻きを使用する場合、肩にかからない長さとする。
 - ④ リボンその他の装身具は禁止し、長髪の場合はゴム(黒または紺)で止めるよう指導する。
 - ⑤ 服装違反は注意し、従わない場合は失格とする。
- (3) ゼッケンについて
選手は次の要領で団体・個人ともにゼッケンを作成し、右腰前に必ずつけること。

- ① 布地は白色。県名・学校名は黒字とする。選手番号は、男子は黒色、女子は赤色とする。
- ② 選手番号は団体戦出場選手・個人戦出場選手ともにゼッケン番号とする。
(団体競技と個人競技の両方に出場する選手は注意すること。)
- ③ ゼッケン番号は、団体競技は各チームで1～4を決める。(4は補員)
個人競技は各県で1～12を決める。
- ④ ゼッケンは安全ピンで2箇所をとめる。あるいは紐でとめてもよい。
- ⑤ 規格および記載例



(4) 医療について

- ① 会場には救護所を設置し、応急処置を行い、医療機関を紹介する。
- ② 宿舎で患者が発生した場合は、宿舎提供者が最寄りの医療機関を紹介する。
- ③ 監督・選手は健康保険証を必ず持参すること。
- ④ 救急病院 『広島市民病院』 TEL 082-221-2291 (広島県立総合体育館の東側)

(5) 公式練習について

- ① 11月18日(金) 9:00～15:05
- ② 県ごとの時間制とし、広島、岡山、島根、山口、鳥取の順で行う。割り当て時間は各県65分、入れ替え時間は10分とする。行射、矢取、矢取の指示は各県委員長の指示によって行うこと。
 広島 9:00～10:05 岡山 10:15～11:20 島根 11:30～12:35
 山口 12:45～13:50 鳥取 14:00～15:05
- ③ 競技の服装で行い、監督の引率を必要とする。
- ④ 会場準備のため使用を一時中断する場合がある。

(6) その他

- ① 開会式の代わりに開始式(優勝杯・優勝盾返還、選手宣誓)を行います。関係者は5分前までに弓道場にお集まりください。
- ② 武道場の開場は8:00です。武道場入口から入場し、**受付にて【学校同行者体調記録表】(黄色)を必ず提出してください。**
- ③ 選手控室 兼 巻きわら室について
 ア) 選手控室 兼 巻きわら室は、武道場(柔道場・剣道場半面)です。観覧席を各県に割り当てますので、当日掲示する割り当て表でご確認ください。
 イ) 武道場更衣室は利用できますが、コロナ対策のため、できる限り着替えを済ませて来場していただくように、ご協力をお願いいたします。
ウ) 武道場フロアでは飲食はできません。観覧席で飲食はできます。
 エ) 武道場入口に設置のくつ袋をご利用ください。**武道場フロアは土足禁止です。**
 オ) 巻藁の持ち込みは禁止します。武道場に弓具は置いて帰って構いませんが、責任は持てません。
- ④ 各校・各自で貴重品の管理をお願いいたします。(盗難事件等他競技で発生しております)
- ⑤ 広島県立総合体育館の地下に駐車場があります。料金は30分220円で、はじめの30分は無料です。
- ⑥ 広電市内電車の下車駅は、『紙屋町西』または、『原爆ドーム前』です。
- ⑦ 参加者の個人情報については、次のために使用します。また、参加申込書の提出をもって許諾いただいたものとして取り扱います。
 ア) 大会プログラムおよび各種記録への掲載
 イ) 肖像権については、各種記録、メディアの取材等で写真撮影をすることがあります。
- ⑧ **今大会はIDカードを使用します。選手・監督・引率は常時携帯してください。IDカードの無い方は競技会場や選手控室に入場できません。**